

地球は今

【身近な環境問題】

1. ゴミ問題

- 日本はゴミ焼却炉が世界一多い。(ドイツ154、アメリカ263、日本1269)
原因は、企業の製造責任が無いこと、一般ゴミの有料化が無いことでゴミが多い。
さらにゴミの分別、再資源化が遅れ、焼却と埋め立てが主流。
- 先進国では、企業の製造責任、一般ゴミの有料化によりゴミを大幅削減。
 - ・ゴミ削減の大原則は4R
REFUSE(やめる)、REDUCE(減らす)、REUSE(再利用)、RECYCLE(再資源化)
 - ・循環経済法、企業にゴミの回収処理責任、使い捨て容器に高額な税金、
ゴミの完全分別、生ゴミの堆肥化、デポジット制などを実施。
- みんなが4Rを心がける。特にリターナブルボトルなど再利用が必要
 - ・ゴミが少なくなるような買い方、使い方を
 - ・欧米並みのゴミ行政が行われるよう意思表示をする

2. 食糧問題

- 食料廃棄大国日本! ⇒廃棄食料は年間約2000万ト
⇒3300万人分の食料、年間1兆円!
⇒世界の食糧援助の総量の約4倍!
 - ・廃棄食料は年々増加している
- 日本の自給率は世界最低クラス!
 - ・穀物自給率は、175ヶ国中 123番目
- 食糧輸入が途絶すると日本人の大半は飢餓
 - ・穀物自給率を上げることが急務⇒自給自足へ

各国の穀物自給率(%)

オーストラリア	176
フランス	164
アメリカ	150
インド	105
ドイツ	102
中国	102
イギリス	92
日本	28

農水省食糧需給表平成20年度

【地球環境問題】

3. 地球温暖化

- 二酸化炭素の増加が続くと、100年以内に平均気温が最大6.4℃上昇
 - ・海面上昇⇒海拔の低い国は水没の危機、何億人もの環境難民が発生
 - ・洪水や干ばつ、砂漠化などにより、世界的な食糧危機が起きる
⇒食糧自給率の低い日本は最も危険な国
 - 国連IPCCは「早急にCO2を60~80%削減しなければならない」と警告
 - ・実際は、京都議定書では先進国の削減目標は平均5%にとどまった
 - ・途上国の急増が予想され、この程度ではほとんど効果がない
⇒ドイツは目標25%に対し、すでに22%削減
イギリスは目標23%に対し、すでに18%削減
日本は目標6%に対し、逆に9%増加
 - 二酸化炭素増大の原因
 - ・石油、ガス、電気、自動車などエネルギーの大量消費が原因
 - ・二酸化炭素の排出は経済とほぼ比例し、先進国は貧しい国の約100倍
 - ・先進国も途上国も経済成長、経済拡大を目指している
- ⇒際限のない経済拡大や、大量消費の経済を根本的に改めなければならない

4. オゾン層破壊

- オゾン層破壊により、有害紫外線B（通常の紫外線Aとは波長が異なる）が増加
 - ・紫外線Bは、DNAを損傷し、皮膚ガンや白内障、免疫の低下を引き起こす
 - ・植物の生育障害やプランクトン減少により、世界規模の食料危機が起こる
 - ・北極圏ではすでに40%減少、日本上空でも最大30%減少を確認
 - ・2020年頃オゾンの2/3が破壊（NASA）⇒本格的な危機はこれから
 - ・世界での皮膚ガン急増のため、国連WHO（世界保健機構）は直射日光を避けること、紫外線情報のチェック、サングラスの着用などを勧告
 - 他の先進国では、すでに直射日光に当たらないよう様々な呼びかけをしている
 - ・バースタイム10ミニッツ！「直射日光を浴びるのは10分以内に」
 - ・直射日光の強い日、子どもを外に出さないように！
 - ・スリッパ、スロップ、スラップ&ラップ
⇒「帽子、長袖、サングラス、紫外線防止ローションを」
 - 原因はフロンガス（冷蔵庫などの冷媒、発泡剤等に使われている）
 - ・他の先進国ではフロンの回収義務、フロン放出に高額な罰金などの規制
- ※日本でも2007年10月にフロン回収法が改正された。メーカーの回収義務はあるが、回収は進んでいない。（カーエアコンの回収率：約30%）
⇒断熱材のフロン回収は対象外なので、規制強化が必要！
- ・ノンフロンの冷蔵庫や自動販売機も出始めたが、まだ普及していない
 - ・ノンフロンのエアコンはまだ製品化していない

5. 森林破壊

- 森は空気（酸素）をつくり、水を蓄え、土をつくり、多くの生物を養っている
⇒森林が破壊されると、陸上生物は生きられない
- 乱開発、乱伐採ですでに世界の原生林の80%が損失。このままでは100年で全滅も。
- 原因は先進国の商業伐採や乱開発（工業用地、農地、リゾート、プランテーション農業）
- 根本的な解決には修復や保全の義務化。自給自足をめざすことが必要

6. 世界的な食糧危機

- 飢餓人口は約9億人、毎日約3万人の子どもが餓死
- 原因は、①人口増加（1900年1.5億人、2010年6.9億人、2050年9.0億人）
 - ②生活の向上（肉食、加工食品へ移行）農地の減少と劣化
 - ③地球環境問題（地球温暖化、水資源の枯渇、森林破壊）など
すでに異常気象により、ロシアでは穀物輸出禁止が発生
 - ④豊かな国の人たちの肉食（肉食は10人分の穀物消費と同じ）
- 今後、世界全体で食糧危機が始まる可能性
日本も、今後、食糧輸入ができなくなると予想される
食糧を大量に輸入している日本はきわめて危険⇒自給自足が必須

- グリーンコンシューマになろう！
- ①まず事実を知ること ②できることから始めること
- ③事実を知らせること、意思表示をすること
- 『地球村』の仲間になってください。毎月、最新情報をお送りします。